

～2025大阪・関西万博へ 世界に羽ばたく地域ブランド～ 「丹後織物」が選定されました

令和3年9月15日

京丹後市役所

本市の丹後ちりめんに代表される丹後織物の振興においては、以前より国・府との連携に努めており、昨年は丹後ちりめん創業300年という節目を迎え、新商品開発ならびにブランド力向上に資する各種施策に取り組みました。

この度、関西の地域ブランドの国内外における知名度向上や、市場開拓等の推進に向けた一体的な支援に取り組む経済産業省近畿経済産業局の支援対象に「丹後織物」が選定されましたのでお知らせします。

同局では2025年の大阪・関西万博の開催を契機として、自律的好循環を生む「地域ブランドエコシステム」の構築、さらには関西全体がブランドとなる社会をめざしており、個々の地域ごとに課題解決に向けた丁寧な支援を行う予定です。

本市においても引き続き同局と連携した産地振興の推進に取り組みます。

経済産業省近畿経済産業局による「地域ブランド」の選定について

1. 選定理由

世界の地域ブランドを目指し、脱下請やウィズコロナ時代の戦略構築により、さらなる飛躍に挑戦する地域ブランドを選定。丹後織物は「TANGO OPEN」というブランド発信や、海外展開を視野に入れた取り組みを行っている。

2. 主な支援内容

地域ブランドのプラットフォームである「地域ブランドネットワークサロン」に参加する支援機関、専門家、マーケット関係者とのネットワークを活かし商品化や販路開拓につなげるビジネスマッチングを行う。

その他 丹後織物工業組合創立100周年記念事業が予定されています。

TANGO TEXTILE EXHIBITION 第72回丹後織物求評会

会期 令和3年10月20日～10月31日

- ・組合創立100周年記念式典 10月23日 午後1時30分～午後3時
- ・展示一般公開 10月23日～31日 午前10時～午後4時

【問合せ先】

京丹後市商工観光部商工振興課絹業係

電話 0772-69-0440

FAX 0772-72-2030

E-mail shokoshinko@city.kyotango.lg.jp

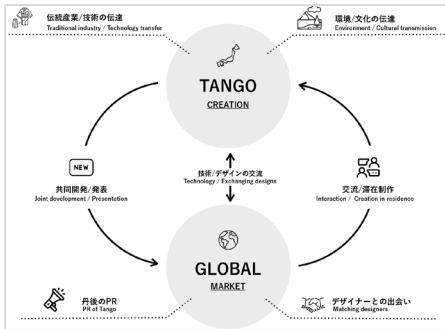
令和3年9月15日

地域ブランド支援、NEXT STAGEへ
～2ブランド（丹後織物、播州織）の追加&プラットフォームの充実～

近畿経済産業局は、2025大阪・関西万博を視野に、さらなる飛躍に挑戦する地域ブランドとして、新たに「丹後織物（京都府）」と「播州織（兵庫県）」を追加します。また、昨年度に選定した10の地域ブランドの中には、新商品開発段階に入った取組や、3年先を見据えた補助金の活用事例等も出てきていることに鑑み、地域ブランドのプラットフォームである、「地域ブランドネットワークサロン」をよりマーケティングを意識したものにステージアップします。

1. 2ブランドの追加について

丹後織物は、「TANGO OPEN」というブランドの発信や、「TANGO CREATION PLATFORM」など海外展開を視野にいれた取組を行っています。また、「播州織」では、若手織物人材によるオンリーワンのものづくりや、今秋に開催予定のオープンファクトリーフォーラムが話題となっています。このような地域の取組に加え、個々の事業者においても、経済産業省施策であるJAPANブランド育成支援等事業費補助金（以下、「JAPANブランド補助金」という。）を積極的に活用していることを踏まえ、支援モデルの地域ブランドに追加いたします。これにより支援モデルとなる地域ブランドは12となります。＜資料①＞



TANGO CREATION PLATFORM〔丹後織物〕



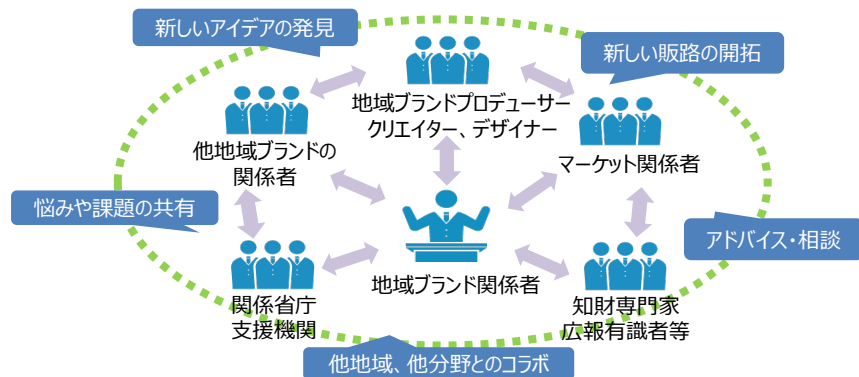
若手織物人材育成の様子〔播州織〕

近畿局の支援モデルとなる地域ブランド

- | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|
| ◎ 鯖江のめがね（福井県） | ◎ 泉州タオル（大阪府） | ◎ 播州織（兵庫県） |
| ◎ 信楽焼（滋賀県） | ◎ 三木の酒米等（兵庫県） | ◎ 奈良酒（奈良県） |
| ◎ 和束茶（京都府） | ◎ 丹波篠山の黒大豆等（兵庫県） | ◎ 広陵くつした（奈良県） |
| ◎ 丹後織物（京都府） | ◎ 淡路島の食と香り（兵庫県） | ◎ 和歌山ニット（和歌山県） |

2. プラットフォームのステージアップ

地域ブランドのプラットフォームである「地域ブランドネットワークサロン」は、昨年度、様々な「つなげる」を実現しました。今年度はより具体的に、これまでのブランディングのサポートによって生まれた試作品や事業のアイデアについて、商品化や販路開拓につながるビジネスマッチングを行うとともに、3年先をターゲットとしたマーケティングにもつなげていきます。また、サロンの場でのコラボレーションにより、新事業進出や販路開拓等にかかる公的支援が必要な場合は、国の出先機関や支援機関等の施策の中から、適したものにつなげていくなど引き続きシームレスな施策支援も行っていきます。＜資料②＞



地域ブランドネットワークサロンの概要



昨年度の地域ブランドネットワークサロンの様子

3. 背景にある、万博への機運の高まりとブランド支援の成果

昨年10月に選定した10のモデルとなる地域ブランドにおいては、ブランド価値の再考や新商品開発につなげている事例（※）も誕生しています＜資料③も参照＞。また、8月31日に採択発表を行ったJAPANブランド補助金では、3年先の海外展開を見据えた地域ブランド関係の提案＜資料④＞もあり、万博を見据えた新たな市場獲得が期待されます。こうした事業者の取組を踏まえ、当局の地域ブランド支援も、これまで以上にマーケティングを意識した内容にシフトチェンジしていきます。

（※）泉州タオルの事例

泉州タオルでは、製造事業者を中心とするメンバーで協議を重ね、新たなブランド理念「水とともに生きる 泉州タオル」を打ち出しました。現在では、新たなブランド理念を踏まえた試作品開発が進められています。



泉州タオルのブランディング会議の様子

4. 今後の展望

新たな2ブランドの追加や地域ブランドネットワークサロンの機能強化、JAPANブランド補助金の採択者にみる海外への販路開拓の意欲など、地域ブランドを取り巻く事業者等の取組、施策ニーズはますます高まりつつあります。「つなげる」をこれまで以上に効率よく効果的に進めていき、2025大阪・関西万博に向けたブランドの高付加価値化、さらに地域全体の大きな機運醸成となることを目指します。

（本発表資料のお問い合わせ先）

近畿経済産業局 通商部 地域ブランド展開支援室 室長 谷原秀昭

担当者：魚井、矢野、田中

電話：06-6966-6054 FAX：06-6966-6087